

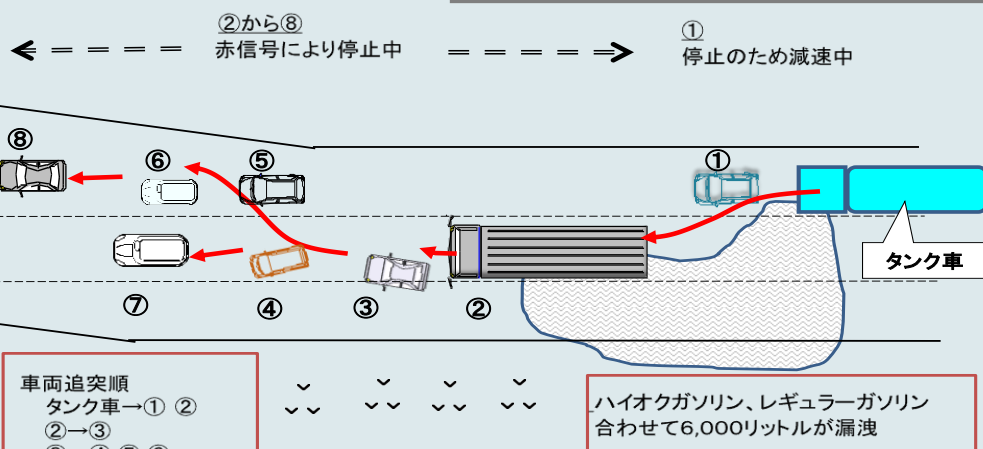
事業用自動車事故調査報告書 概要 ～タンク車の追突事故(愛知県犬山市)～

事故概要

平成26年11月27日、愛知県犬山市の国道41号線において、ガソリン等を積載したタンク車が走行中、交差点手前において乗用車に追突したことを発端として、合計9台の多重追突事故が発生した。この事故により、関係した車両の運転者6名及び同乗者3名の合計9名が軽傷を負い、タンク車のタンクが損傷し、積載していたガソリン等6,000リットルが路上に漏洩した。



事故状況図



原因

タンク車の運転者が、疲労と睡眠不足で**集中力が低下**している状態において、**休憩場所を探しながら走行**していたことにより、赤信号で停止しようと減速していた乗用車に気付くのが遅れ、追突したと考えられる。同運転者は睡眠不足により、疲労が残っていたことを点呼の際に申告しなかった。このため、運行管理者が**疲労の度合いを把握できていない**まま運行の可否を決定していたことも、結果として事故につながった可能性が考えられる。

再発防止策

- ★ 運行管理者は、運転者に**輸送の安全**を委ねていることを認識し、**点呼において**運転者の健康状態を把握し、**安全な運転が可能か否か**を判断する。
- ★ 長距離運行の場合に、**休憩場所**について**適切な情報を提供**する。
- ★ 運転者が疲労を自覚したまま運転することは、事故を起こす危険性が高いことから、事業者は、運転者に対して休息期間において**疲労を十分回復**させるように努めることを指導する。また、運転者が点呼において疲労状態を**報告しやすい**ように**職場環境を整備**する。